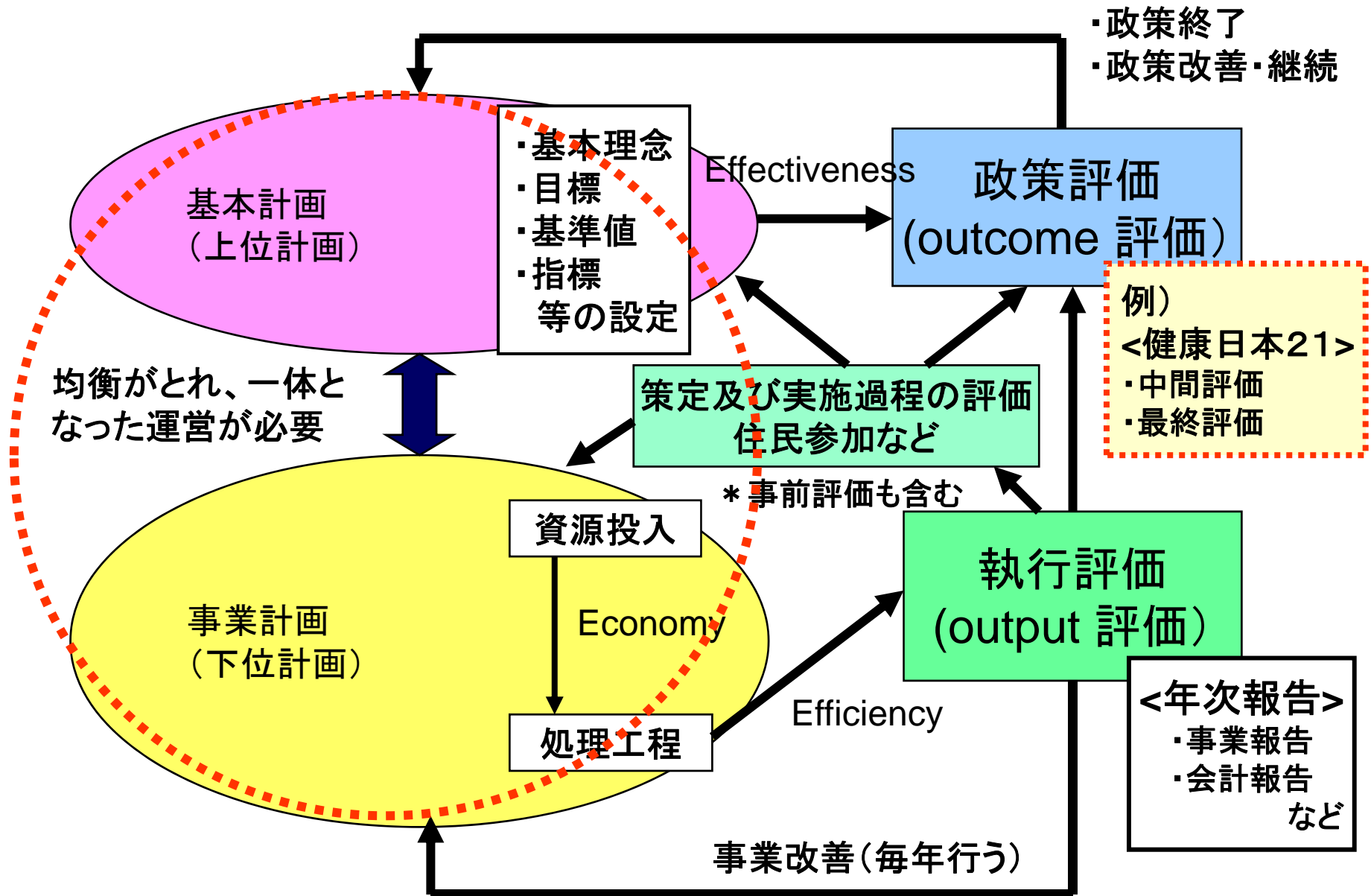


主たる医療職種の入学定員（平成21年度）

職種	定員
医師	8,566人
歯科医師	2,624人
薬剤師	13,314人*
看護師	66,128人
合計	90,632人
平成21年の出生数	1,070,025人

* 但し、薬学部の入学定員

計画と評価の構造 (行政計画)

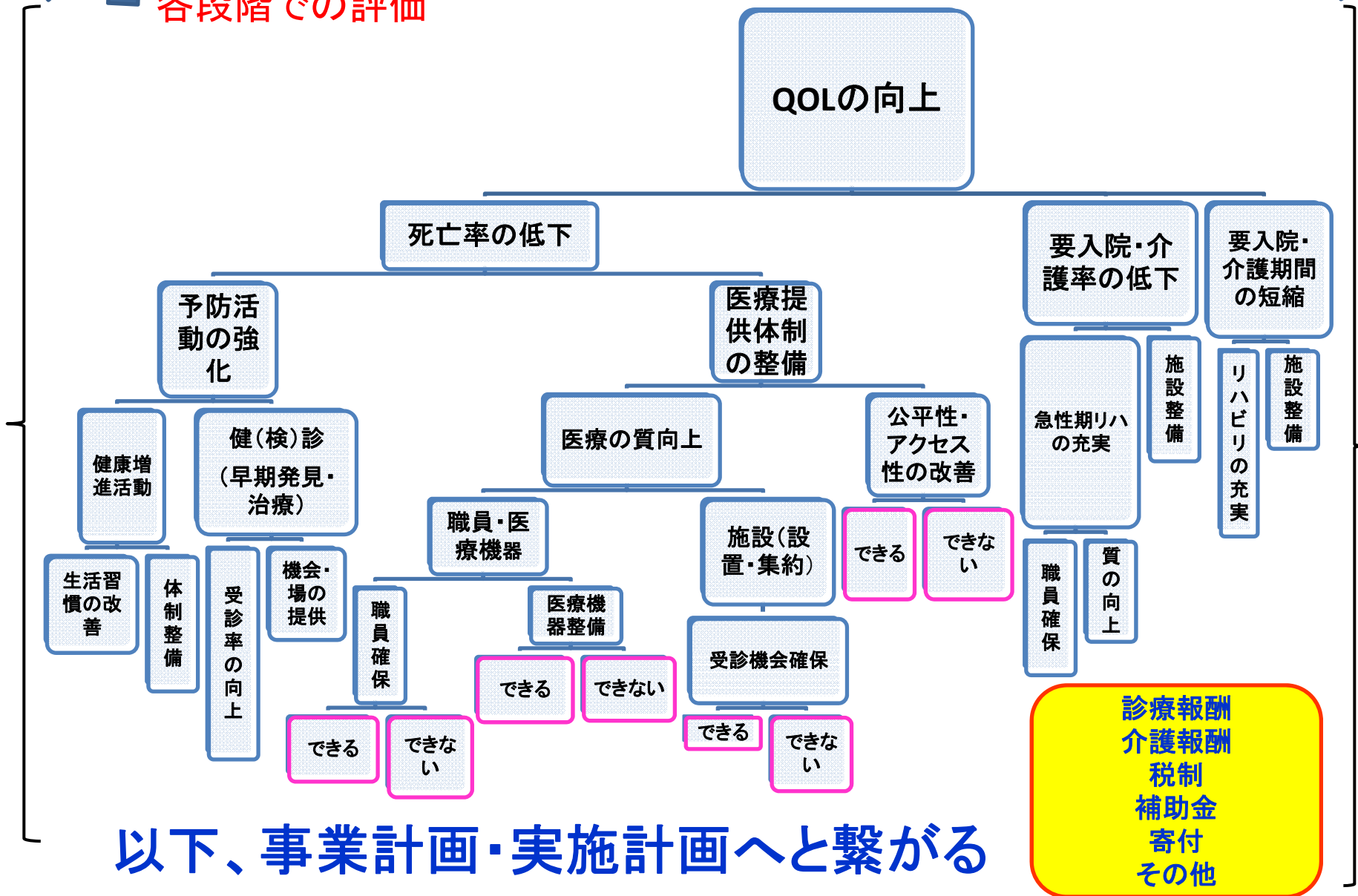


- 以下の施策体系、事業計画等の欠落
- 診療報酬とリンクしていない
- 他計画との関連が不明瞭
- 医療従事者は本当に確保できるのか？
- 医療施設は本当に維持できるのか？

4疾病

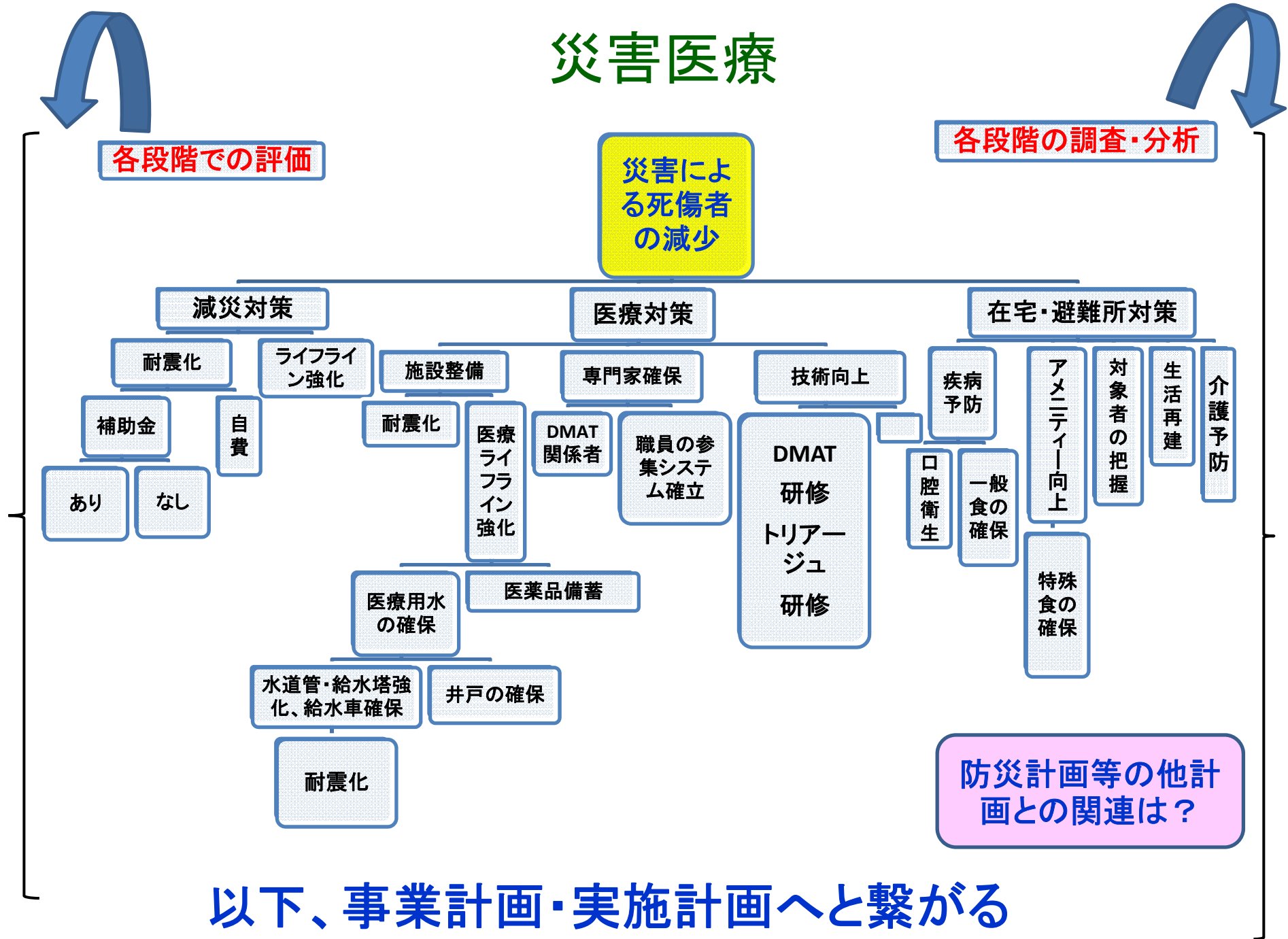
各段階の調査・分析

各段階での評価



以下、事業計画・実施計画へと繋がる

災害医療



4疾病5事業の例-(1)

がん対策			
分野	目標項目	現状 (年度)	目標 (年度)
予防	脂肪エネルギー比率の減少	26.4% (2003)	25%以下 (2012) ①
	平均食塩摂取量の減少	11.2 g (2003)	10 g 未満 (2012)
早期発見	がん検診受診率の向上	— (2007)	受診率の向上 (2014)
医療	がん診療連携拠点病院の整備 (累計)	12 施設 (2007)	12 施設 (2010) ②
緩和ケア	緩和ケア病棟を有する病院の整備、拡充	7 医療圏 (2007)	二次保健医療圏に1 か所以上 (2014)
	ターミナルケア医療従事者研究への支援	1 病院 (2007)	1 病院 (2010)
脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病対策共通			
分野	目標項目	現状 (年度)	目標 (年度)
予防	メタボリックシンドロームの概念を知っている人の増加	79.3% (2007)	85%以上 (2012)
	メタボリックシンドロームの予備群・該当者の減少	予備群・該当者男性 1,035,000 人 (2006)	10%減少 (2012)
		予備群・該当者女性 191,000 人 (2006)	10%減少 (2012)
基礎疾患の早期発見・健診後保健指導体制の充実	特定健康診査受診率の増加	— (2006) ③	70%以上に (2012)
	特定保健指導受診率の増加	— (2006)	45%以上に (2012)
医療	地域連携クリティカルパス導入の普及	— (2007)	二次保健医療圏全てに導入 (2012)
退院後・在宅ケア	医療連携体制に対する窓口設置の数の増加 (病院)	67.1% (2007)	100% (2012)

注) ①は健康日本21の目標値、②はがん対策推進基本計画の目標値、③は特定健診・特定保健指導の参酌標準

4疾病5事業の例-(2)

総合的な救急医療体制			
分野	目標項目	現状 (年度)	目標 (年度)
総合的な救急医療体制の充実	県有施設のAED配置数の充実	256 施設 (2007)	400 施設 (2012)
	救命救急センター設置数(累計)	12 施設 (2007)	13 施設 (2010)
精神科救急医療体制	精神科救急医療体制の確保	365 日 24 時間体制 (2007)	365 日 24 時間体制の充実 (2012)
小児医療対策			
分野	目標項目	現状 (年度)	目標 (年度)
小児医療の充実	24 時間 365 日の二次救急医療体制の割合	100% (2007)	100%維持 (2012)
周産期医療対策			
	目標項目	現状 (年度)	目標 (年度)
周産期医療の充実	総合周産期母子医療センターの指定	4 (2007)	5 (2012)
災害時における医療体制			
分野	目標項目	現状 (年度)	目標 (年度)
大規模・広域的な災害への対応	神奈川DMAT指定病院数の整備、拡充	5 施設 (2007)	10 施設(2012)



終わり